

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

当社ホームページのご紹介

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>

当社に関する様々な情報を公開しております。



平成24年5月発行



第37期

報告書

平成23年3月1日から
平成24年2月29日まで





PB商品の拡充と品質の向上に取り組み、
お客様に愛され、
選ばれるコンビニエンスストアを
展開してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、ここに当社第37期（平成23年3月1日から平成24年2月29日まで）の報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年5月

代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当期の業績について教えてください。

A1 中食が好調に推移するなど一部に復調の兆しも見えましたが、消費者の節約志向は依然続いており、異業種間競争に伴う低価格化など販売競争が激化する厳しい状況となっております。当社のチェーン全店売上高は92,432百万円（前連結会計年度比1.9%増）、営業総収入58,594百万円（同1.6%増）、営業利益458百万円（同38.7%増）、経常利益496百万円（同36.2%増）となりました。また、資産除去債務に係る影響額840百万円を計上したことなどにより、当期純損失847百万円（前連結会計年度：当期純損失652百万円）となりました。

Q2 当期の取り組み施策について教えてください。

A2 当社グループは、地域に密着した安全で品質の高い商品開発やサービスの提供など、お客様目線で魅力あるお店づくりを目指してまいりました。

商品政策に関しましては、原料調達を集約や見直し、新たな製法の導入などを行い、デザートやベーカリーなどのPB商品の拡充と品質の向上に取り組みでまいりました。ポプラのオリジナルである炊きたてご飯を盛りつけた「ポップ弁」についても、原料の見直しや内容の充実を図り、お客様に愛されるお弁当の開発を進めました。また、フライヤーで揚げたお惣菜と炊きたてご飯を組み合わせた“できたて弁当”の取り扱い店舗の拡大も実施してまいりました。販促関連では、「おむすび100円セール」の実施やお手頃な価格で提供する「グッドプライス応援団」、期間中何度でも利用できる「缶コーヒー定期券」を投入し、来店頻度の向上を図るための施策を進めてまいりました。

サービス面では、新規顧客及びリピーターの来店促進や顧客満足度向上のためモバイルサイトを立ち上げ、お得なクーポン情報や生活に役立つ様々な情報の配信を開始いたしました。

店舗においては、限定商圈や小規模店舗でも経営を

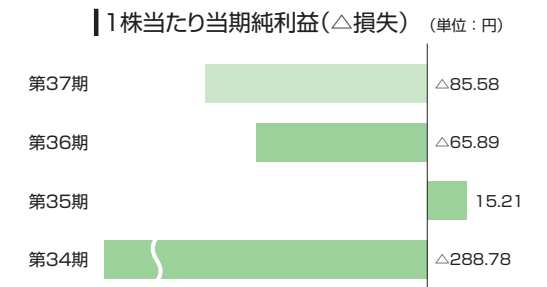
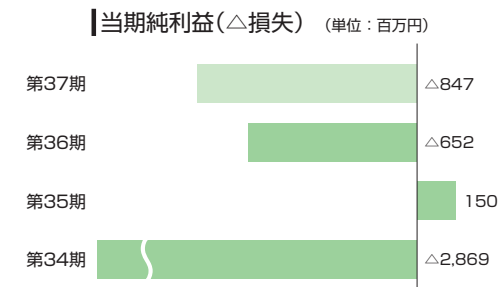
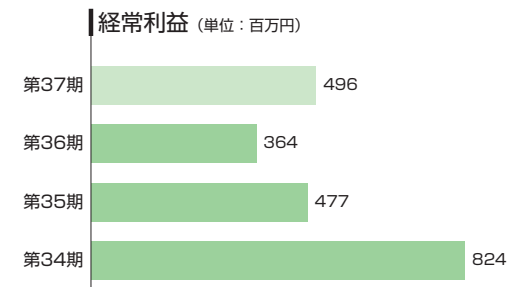
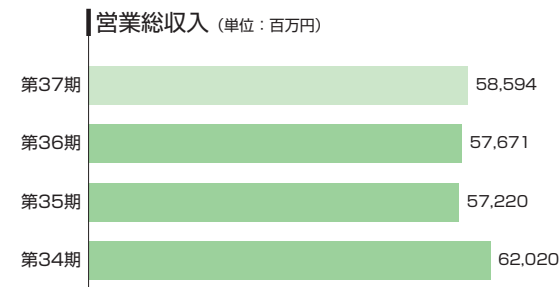
可能にする当社独自の「売上ロイヤリティ制度」による出店の自由度を活かし、大学、病院、ホテル等に加え、買い物難民の解消や流通過疎地支援等、地域の利便性向上のために鳥取中央農業協同組合が運営するJA生活センターをコンビニエンスストア化するなど、新たな立地の開発を行ってまいりました。

また、関東エリアで実施しておりました商品供給事業について、西日本エリアでも展開を始めました。この商品供給事業は、売店への卸売事業で、関東エリアにおいては職域内売店、ドラッグストア、ガソリンスタンド等、164店舗への供給実績があり、西日本エリアでも同様の展開を実施すべくスタートし、期末時点で4店舗への供給を開始しております。今後は、CVS事業との連携により加盟店舗ならびに商品供給先の拡大を図ってまいります。

Q3 今後の見通しについて教えてください。

A3 第38期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入60,353百万円（当連結会計年度比3.0%増）、営業利益721百万円（同57.3%増）、経常利益721百万円（同45.2%増）、当期純利益226百万円（当連結会計年度：当期純損失847百万円）を見込んでおります。

財務ハイライト



連結貸借対照表

			(単位：百万円)		
科 目	第37期	第36期	科 目	第37期	第36期
	平成24年2月29日現在	平成23年2月28日現在		平成24年2月29日現在	平成23年2月28日現在
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	3,093	2,515	支払手形及び買掛金	2,956	2,774
受取手形及び売掛金	202	182	加盟店買掛金	1,156	1,444
商品及び製品	1,356	1,491	預り金	1,572	1,676
原材料及び貯蔵品	30	32	未払法人税等	127	127
その他	1,558	1,461	賞与引当金	90	95
貸倒引当金	△ 34	△ 4	その他	1,237	1,182
流動資産合計	6,208	5,678	流動負債合計	7,141	7,300
固定資産			固定負債		
有形固定資産			リース債務	209	244
自社有形固定資産			退職給付引当金	272	251
建物及び構築物（純額）	2,025	2,412	長期預り金	1,980	2,133
土地	3,126	3,246	資産除去債務	1,065	—
その他（純額）	378	470	その他	340	143
自社有形固定資産合計	5,530	6,129	固定負債合計	3,868	2,772
貸与有形固定資産			負債合計	11,010	10,073
建物及び構築物（純額）	1,454	1,413	【純資産の部】		
土地	574	454	株主資本		
その他（純額）	119	156	資本金	2,410	2,410
貸与有形固定資産合計	2,148	2,025	資本剰余金	2,650	2,650
有形固定資産合計	7,678	8,154	利益剰余金	2,096	3,042
無形固定資産	458	144	自己株式	△ 92	△ 92
投資その他の資産			株主資本合計	7,064	8,011
敷金・保証金	3,096	3,426	その他の包括利益累計額		
その他	772	864	その他有価証券評価差額金	37	33
貸倒引当金	△ 102	△ 150	その他の包括利益累計額合計	37	33
投資その他の資産合計	3,766	4,139	純資産合計	7,102	8,044
固定資産合計	11,903	12,439	負債純資産合計	18,112	18,117
資産合計	18,112	18,117			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

point ① 売上高

PB商品及びFF商品が好調であったことに加え、前半は気温が高く好天に恵まれたことで好調に推移いたしました。

point ② 営業利益

売上が好調であったこと及び値入率の改善の取り組み、業務の効率化を進めた結果、前期比38.7%の増加となりました。

point ③ 当期純利益

会計基準の変更に伴い「資産除去債務に関する会計基準」の適用による特別損失840百万円を計上したこと及び減損損失の計上等に伴い純損失となりました。

連結損益計算書

			(単位：百万円)		
科 目	第37期	第36期	科 目	第37期	第36期
	平成23年3月1日から平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から平成23年2月28日まで		平成23年3月1日から平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から平成23年2月28日まで
売上高	53,962	52,931			
営業収入	4,632	4,740			
売上原価	42,408	41,436			
営業総利益	16,186	16,235			
販売費及び一般管理費	15,727	15,904			
営業利益	458	330			
営業外収益	66	63			
営業外費用	28	29			
経常利益	496	364			
特別利益	89	140			
特別損失	1,366	423			
税金等調整前当期純利益(△損失)	△ 780	81			
法人税、住民税及び事業税	107	103			
法人税等調整額	△ 39	631			
少数株主損益調整前当期純損失	△ 847	—			
当期純損失	△ 847	△ 652			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

			(単位：百万円)		
科 目	第37期	第36期	科 目	第37期	第36期
	平成23年3月1日から平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から平成23年2月28日まで		平成23年3月1日から平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から平成23年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	833	△ 2,251			
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 59			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 163	△ 266			
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	578	△ 2,577			
現金及び現金同等物の期首残高	2,515	5,093			
現金及び現金同等物の期末残高	3,093	2,515			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第37期	第36期
	平成24年2月29日現在	平成23年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産	5,803	5,118
固定資産	11,841	12,480
有形固定資産	7,481	7,953
無形固定資産	451	136
投資その他の資産	3,908	4,389
資産合計	17,645	17,598
【負債の部】		
流動負債	6,837	6,943
固定負債	3,809	2,728
負債合計	10,646	9,672
【純資産の部】		
株主資本	7,006	7,928
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,649	2,649
利益剰余金	2,039	2,961
自己株式	△ 92	△ 92
評価・換算差額等	△ 7	△ 2
その他有価証券評価差額金	△ 7	△ 2
純資産合計	6,998	7,925
負債純資産合計	17,645	17,598

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第37期	第36期
	平成23年3月 1 日から 平成24年2月29日まで	平成22年3月 1 日から 平成23年2月28日まで
売上高	52,327	51,171
営業収入	4,669	4,772
売上原価	41,235	40,205
営業総利益	15,762	15,738
販売費及び一般管理費	15,225	15,356
営業利益	536	381
営業外収益	82	68
営業外費用	123	113
経常利益	495	336
特別利益	73	112
特別損失	1,332	394
税引前当期純利益(△損失)	△ 763	54
法人税、住民税及び事業税	100	95
法人税等調整額	△ 40	633
当期純損失	△ 822	△ 674

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

出店の取り組み

当社独自の売上ロイヤリティ制度の特徴が発揮しやすい小商圈への出店、キオスク形態の小型店舗の開発など様々なバリエーションをもって新規出店に積極的に取り組んでまいります。

（新たな立地の開発）

買い物難民の解消や流通過疎地支援など、地域の皆様の利便性向上のため、鳥取中央農業協同組合が運営するJA生活センターをコンビニエンスストア化したしました。



「便利で長く愛される店舗」をコンセプトに、弁当、飲料、雑誌などの充実した品揃えと、料金収納や宅急便など様々なサービスを提供しております。また、営業時間の延長、年中無休とすることで、今まで対応出来なかった時間帯のお客様のご利用も可能になっており、より便利なお店となっております。

地域貢献の取り組み

（地域との協定）

当社は自治体と協定を締結し、災害時における支援活動に取り組んでおります。これまでに災害時の物資支援協定は9の自治体、帰宅困難者支援協定は32の自治体とそれぞれ締結しております。(平成24年2月末時点)



新たに、米子市(左写真)、倉吉市(右写真)、安来市と災害時物資支援協定を締結いたしました。

商品力アップとともに、おむすびやお弁当の販促セールを定期的的に実施、また多様なコラボ企画も行い、お客様に愛されるコンビニエンスストアを目指してまいります。

●達川氏がポプラの応援宣伝監督に

野球解説者で元広島東洋カーブ監督の達川光男氏を、今年4月から1年間ポプラの応援宣伝監督に起用させていただくことになりました。

達川氏には、ラジオCM・店舗での有線CM・おむすびやお弁当などのコラボ商品の発売などあらゆる分野でポプラを応援していただく予定です。



●キャンペーンの実施

ご好評いただいております「おむすび100円セール」「グッドプライス応援団」「缶コーヒー定期券」などのキャンペーンを今期も定期的的に実施しております。また、昨年7月より開始したモバイルサービスからキャンペーン情報やお得なクーポン情報が入手できます。



●「おむすび具たっぷりシリーズ」の発売(関西(姫路以外)・北陸地区を除く)

具の量を従来の約1.5倍に増やし、穴開き加工の海苔を使用することで、硬さが解消され歯切れのよさも向上しております。ぜひ一度ご賞味ください。



●「チルド弁当」を発売

ポプラの強みである「店内で炊いたご飯」を活かしたチルド弁当を発売いたします。チルドならではの素材の味が楽しめる一品となっております。「カツ丼」「親子丼」「麻婆丼」の3品を6月より発売し順次改廃を行ってまいります。



●「たまゆら」とのコラボ企画が話題に

人気アニメ「たまゆら」とのコラボ企画で、キャンペーンニュースリリースの発表と同時にホームページへのアクセスが急上昇、クリアファイルプレゼントキャンペーン当日にはアクセス数の記録を更新しました。またネット上でも話題になり、ポプラの認知度アップにつながる企画となりました。



会社概要

(平成24年2月29日現在)

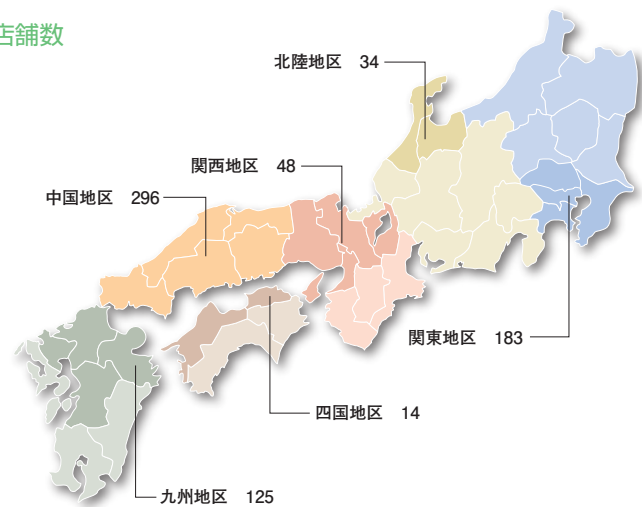
社名 株式会社ポプラ
 本社 〒731-3395
 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
 資本金 24億1,013万7,725円
 設立 昭和51年(1976年)4月20日
 チェーン店舗数 700店舗
 従業員数 630名
 事業内容 当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス有限会社	3,000	(注)100(73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ不動産企画	1,000	100	不動産管理事業

(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

店舗数



当期(下期)の新規開設店舗

- JA山守店(鳥取県)
- 練馬1丁目店(東京都)
- 板橋西台3丁目店(東京都)
- 入野店(広島県)
- カップビア若松ポート店(福岡県)
- JA古布庄店(鳥取県)
- 浜離宮三井ビル店(東京都)
- 岡山幸町店(岡山県)

株式の状況

(平成24年2月29日現在)

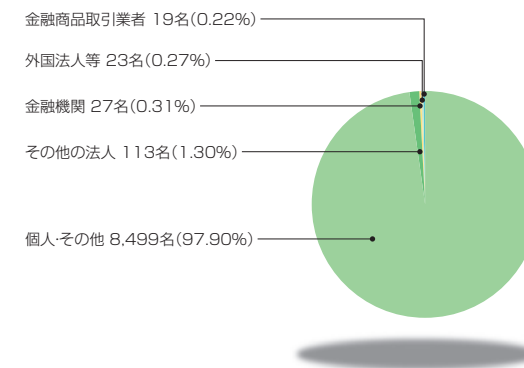
発行可能株式総数 36,160,072株
 発行済株式の総数 10,040,018株
 株主数 8,681名
 第37期中間期に比べ、66名減少しました。

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
目黒俊治	2,804,944株	28.31%
ポプラ協栄会	1,568,709	15.83
ポプラ社員持株会	352,631	3.55
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	207,460	2.09
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(リソな銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	125,800	1.26
三菱食品株式会社	124,525	1.25

(注) 1. 当社は自己株式133,987株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況

